

HSBC タイ株式オープン

追加型投信／海外／株式

償還交付運用報告書

第3期（償還日 2016年5月10日）

作成対象期間

（2015年6月23日～2016年5月10日）

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC タイ株式オープン」は、この度、信託約款の規定に基づき、繰上償還の運びとなりました。

当ファンドは、米ドル建てのルクセンブルク籍証券投資法人の投資信託証券への投資を通じて、タイ王国（以下、「タイ」といいます。）の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指す投資方針に沿い、当期の運用を行いました。

ここに運用状況と償還内容をご報告いたしますとともに、これまでのご愛顧に対し厚くお礼申し上げます。

償還日（2016年5月10日）	
償還価額	8,939円54銭
純資産総額	74百万円
第3期	
騰落率	-18.8%
分配金	－円

（注）騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

▶当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、弊社のHP（ホームページ）で下記の手順でご覧いただけます。

＜閲覧方法＞

右記URLにアクセス⇒HP左上の「基準価額」を選択⇒当ファンドのファンド名称を選択⇒「運用報告書」を選択⇒「交付運用報告書・運用報告書（全体版）」の一覧の最新の運用報告書（全体版）を選択すると、当該運用報告書（全体版）を閲覧・ダウンロードすることができます。

※将来、HPの見直し等により、閲覧方法が変更になる場合があります。

▶運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

HSBC投信株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング
《お問い合わせ先（クライアントサービス本部）》
電話番号：03-3548-5690
（営業日の午前9時～午後5時）
ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.com/jp

HSBC 
Global Asset Management

《償還交付運用報告書 目次》

	頁
◆運用経過◆	1
▶ 基準価額等の推移について	
▶ 基準価額の主な変動要因	
▶ 1万口当たりの費用明細	
▶ 最近5年間（設定来）の基準価額等の推移について	
▶ 投資環境について	
▶ ポートフォリオについて	
▶ ベンチマークとの差異について	
◆お知らせ◆	6
◆当ファンドの概要◆	6
◆（参考情報）代表的な資産クラスとの騰落率の比較◆	7
◆当ファンドのデータ◆	8
▶ 当ファンドの組入資産の内容	
▶ 組入ファンド等	
▶ 種別構成等（【資産別配分】【国別配分】【通貨別配分】）	
▶ 純資産等	
▶ 組入上位ファンドの概要 ◆HSBC グローバル・インベストメント・ファンドータイ・エクイティークラスJ1C（「HSBC G I F タイ・エクイティ」）	
▶ 時価の推移	
▶ 1万口当たりの費用明細	
▶ 種別構成等（【資産別配分】【国別配分】【通貨別配分】）	
▶ 組入上位銘柄	
◆指数に関して◆	11
▶ 「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について	

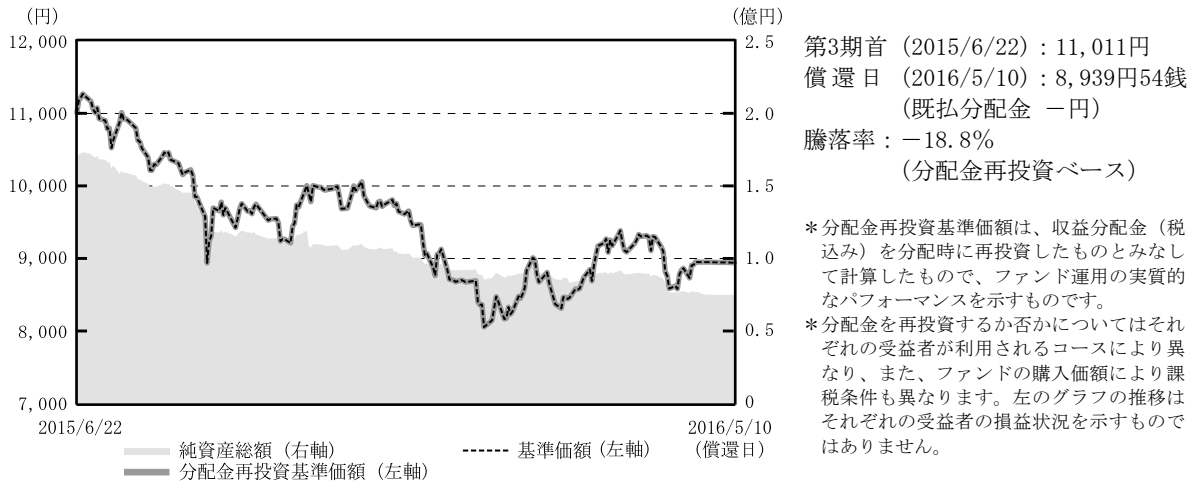
◆運用経過◆

基準価額等の推移について

(第3期：2015年6月23日～2016年5月10日)

＜基準価額の動き＞

基準価額は、期首（2015年6月22日）の11,011円から償還時（2016年5月10日）は8,939円54銭となり、分配金再投資ベースの基準価額は期首に比べ、18.8%の下落となりました。



・分配金再投資基準価額は、期首（2015年6月22日）の値を基準価額と同一になるよう指数化しております。

基準価額の主な変動要因

＜上昇要因＞

- ・政府の減税措置による景気拡大への期待。
- ・日欧など主要中央銀行による緩和的な金融政策。

＜下落要因＞

- ・国内景気の弱含み。
- ・中国の景気減速懸念の高まりによる投資家のリスク回避姿勢。
- ・通貨パーツの対円での下落。

1万口当たりの費用明細

項目	第3期		項目の概要
	2015/6/23～2016/5/10		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	109円	1.153%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,467円です。
（投 信 会 社）	（ 38）	（0.400）	ファンドの運用等の対価
（販 売 会 社）	（ 68）	（0.715）	分配金・換金代金の支払い、運用報告書等の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受 託 会 社）	（ 4）	（0.038）	運用財産の管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.004	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（投資信託証券）	（ 0）	（0.004）	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	21	0.220	(c) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	（ 4）	（0.042）	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
（監 査 費 用）	（ 5）	（0.052）	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	（12）	（0.126）	振替制度に係る費用、印刷業者に支払う法定書類に係る費用等
合計	130	1.377	

(注1) 期中の費用（消費税等の係るものは消費税等を含む）は、追加設定・一部解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 「投信会社」は、以下、「委託者」、「委託会社」という場合があります。

(注5) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注6) 委託者は2015年6月1日から2016年5月10日までの期間に、管理会社より2,252.83米ドルのマネジメントフィーを受領しました。

最近5年間（設定来）の基準価額等の推移について（2013年6月28日～2016年5月10日）



- ・分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を再投資したものと計算しております。実際のファンドにおいては、分配金を再投資するか否かは受益者ごとに異なり、また課税条件によっても異なるため、分配金再投資基準価額は一律にそれぞれの受益者の損益状況を示すものではない点にご留意ください。
- ・当ファンドは、特定のベンチマークを設定し運用を行うものではありません。したがって、ベンチマークを設けておりません。

	—	—	2013/6/28 設定日	2014/6/20 決算日	2015/6/22 決算日	2016/5/10 償還日
基準価額（円）	—	—	10,000	9,857	11,011	8,939.54
期間分配金合計（税込み）（円）	—	—	—	0	300	—
分配金再投資基準価額の騰落率（％）	—	—	—	△1.4	14.8	△18.8
純資産総額（百万円）	—	—	696	341	168	74

- ・分配金再投資基準価額の騰落率は、分配金（税込み）を再投資したものと計算しております（小数点第2位以下四捨五入）。
- ・騰落率は1年前の決算応当日との比較です。なお、2014年6月20日の騰落率については、設定日以降当該日まで、2016年5月10日の騰落率については、前期末以降償還日までの値を表示しております。

投資環境について

【株式・為替市況】

<第1期>

2013年6月28日（当ファンドの設定日）から同年末にかけては、与党（タクシン派）が下院に上程した政治犯を対象とする「恩赦法案」に恩赦の対象としてタクシン元首相が含まれていたことから、反タクシン派が反発するなど、政局不安が株式市場のマイナス要因となりました。しかし2014年に入り、期末にかけて、割安感を背景とした外国人投資家からの資金流入に買い支えられ、同市場は期を通じて僅かに上昇しました。一方、タイバーツは値動きの荒い展開となりましたが、期を通じて僅かに低下しました。

<第2期>

タイ銀行（中央銀行）による緩和的な金融政策や国内景気の弱含みなど好材料と悪材料が交錯する中、株式市場は期を通じて一進一退の展開となりました。一方、為替市場では、国内政治の安定化や日本銀行（中央銀行）による量的緩和などを背景に、バーツは対円で底堅い展開となりました。

<第3期>

株式市場は期を通じて下落しました。国内景気の弱含みに加え、海外では根強い中国の景気減速懸念や米国の金融政策の正常化（利上げ）などが悪材料となる一方、政府の減税措置による景気浮揚への期待、原油価格の上昇、日欧による緩和的な金融政策などが支援材料となりました。一方、為替市場では、円高の進行などを背景に、バーツは対円で大幅に下落しました。

ポートフォリオについて

<HSBC タイ株式オープン>（当ファンド）

当ファンドでは、第1期から第2期の2015年3月までの間、「HSBC グローバル・インベストメント・ファンドータイ・エクイティークラスJ1C」（以下、「HSBC GIF タイ・エクイティ」）への投資比率を90～94%程度と高位に保ち、3～5%程度を上場投資信託（iシェアーズMSCIタイ・キャップETF[※]）に、また1～2%程度を「HSBC マネープールファンド（適格機関投資家専用）」（以下、「マネープールファンド」）に投資し、キャッシュ比率を1～4%程度としました。

2015年3月から第3期2016年4月までは引き続き「HSBC GIF タイ・エクイティ」への投資比率を高位に維持するとともに、「マネープールファンド」に替えてiShares MSCI Thailand ETFへの少額の投資を行いました。2016年4月下旬には、5月の当ファンドの償還に向けてこれら投資対象ファンドを売却し、キャッシュによる安定運用に切り替えました。

※iShares MSCI Thailand ETFと表記する場合もあります。同ファンドは、タイの株式市場の動きに連動する投資成果を目指す米ドル建てのETFです。

* iシェアーズは、ブラックロック・グループが運用するETFブランドです。

<HSBC GIF タイ・エクイティ>

当ファンドの主たる投資対象である「HSBC GIF タイ・エクイティ」は、高い収益性が見込まれる企業の中で、株価評価（バリュエーション）面で割安感が強い銘柄を中心にポートフォリオを構築しました。

セクター別では、第1期から第2期の間、金融、エネルギーに重点を置いて投資しました。第3期には、金融、電気通信サービス、資本財などの組み入れ銘柄比率を高位に保ちました。また、個別銘柄では、第1期から第3期を通じて、カシコン銀行、サイアム商業銀行、バンコック銀行などの銘柄を比較的高い比率で組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、特定のベンチマークを設定し運用を行うものではありません。このためベンチマークはありません。

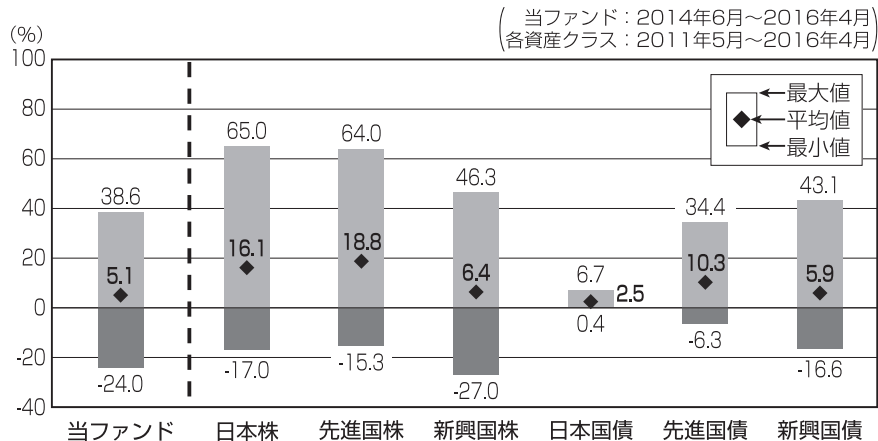
◆お知らせ◆

当ファンドは、受益権口数が投資信託約款に規定する口数を下回っており、運用を継続するよりもお預かりした運用資産を受益者の皆様にお返しすることが最善の措置であると判断し、投資信託約款の規定に基づき、2016年5月10日をもって信託を終了致しました。

◆当ファンドの概要◆

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式
信 託 期 間	2013年6月28日～2016年5月10日（当初、2018年6月20日まで）
運 用 方 針	主として、米ドル建てのルクセンブルク籍証券投資法人の投資信託証券への投資を通じて、タイの株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主 要 投 資 対 象	米ドル建てのルクセンブルク籍証券投資法人「HSBC グローバル・インベストメント・ファンドータイ・エクイティークラスJ1C」（「HSBC G I F タイ・エクイティ」）およびE T F（上場投資信託）に投資します。
運 用 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・投資信託証券への投資を通じて、タイの株式等（ADR、GDR等を含みます。）に投資します。 ・「HSBC G I F タイ・エクイティ」の投資比率を高位に保つことを基本に運用を行います。 ・外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
分 配 方 針	<p>年1回の決算時（毎年6月20日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <p>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>

◆ (参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較 ◆



グラフは、当ファンドについては上記記載の期間、代表的な資産クラスについては上記記載の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示したものです。

- ・上記は、当ファンドの騰落率と代表的な資産クラスの騰落率を比較したものであり、各資産クラスは当ファンドの投資対象を表しているものではありません。
- ・当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- ・騰落率は直近月末から60ヶ月（当ファンドは上記記載の期間）遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値と異なります。
- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

【各資産クラスの指数】

日本株：東証株価指数(TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)

新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド(円換算ベース)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

◆当ファンドのデータ◆

(2016年5月10日現在)

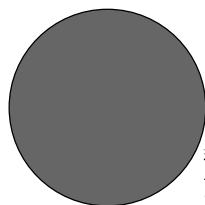
当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド等

信託終了日における有価証券等の組入れはありません。

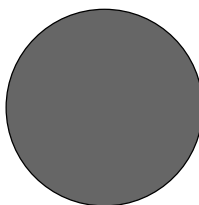
種別構成等

【資産別配分】



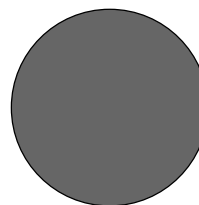
現金・預金・
その他の資産
100.0%

【国別配分】



日本 100.0%

【通貨別配分】



日本円 100.0%

- ・配分は当ファンドの純資産総額に対する比率です。
- ・国別配分は、国・地域別による配分です。

純資産等

項目	償還日
	2016年5月10日
純資産総額	74,689,935円
受益権総口数	83,550,091口
1万口当たり償還価額	8,939円54銭

(注) 期中における追加設定元本額は8,360,248円、一部解約元本額は77,484,535円です。

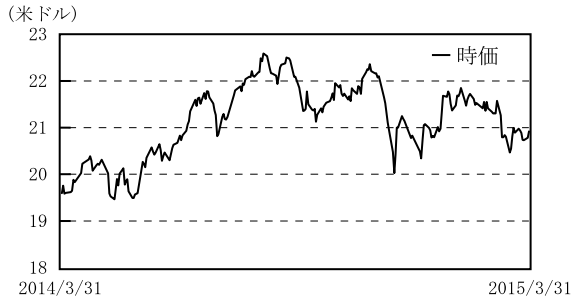
組入上位ファンドの概要

◆HSBC グローバル・インベストメント・ファンドータイ・エクイティークラス J 1 C
 (「HSBC GIF タイ・エクイティ」)

※償還時における組入ファンドはありません。以下のデータは、主要投資対象ファンドの監査済み資料として作成時現在で入手できる直近の計算期間に関する情報です。

(計算期間 2014年4月1日～2015年3月31日)

時価の推移



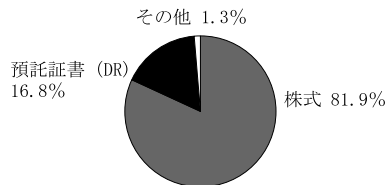
・上記は単位当たりの純資産額 (米ドル) で表示しています。

1万口当たりの費用明細

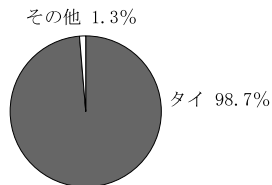
「HSBC GIF タイ・エクイティ」はルクセンブルク籍の外国籍投資証券であり、1万口当たりの費用明細については開示されていないため、記載しておりません。

種別構成等

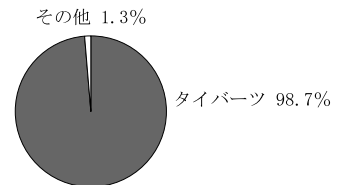
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- ・上記は「HSBC GIF タイ・エクイティ」の決算日現在のものです。
- ・「HSBC GIF タイ・エクイティ」を含む全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。
- ・国別配分は、国・地域別による配分です。
- ・キャッシュ部分については、「その他」に含めております。

組入上位銘柄

(組入銘柄数：32)

	銘柄名	業種	組入比率 (%)
1	カシコン銀行	銀行	9.7
2	サイアム商業銀行	銀行	7.8
3	バンコック銀行	銀行	6.9
4	アドバンスド・インフォ・サービス	電気通信サービス	6.9
5	クルンタイ銀行	銀行	5.9
6	サイアム・セメント	素材	4.8
7	タイ空港会社	運輸	4.5
8	タイ石油公社 (PTT)	エネルギー	4.4
9	CPオール	食品・生活必需品小売り	3.8
10	グロー・エナジー	公益事業	3.3

- ・上記組入上位銘柄は、「HSBC GIF タイ・エクイティ」の決算日現在のものです。投資家の利便性に資するため、銘柄の名寄せおよび業種等の編集を行っている場合があります。
- ・組入比率は「HSBC GIF タイ・エクイティ」を含む全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。
- ・全銘柄に関する情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されております。

◆指数に関して◆

<「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について>

▶東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利および東証株価指数（TOPIX）の商標または標章に関するすべての権利は、株式会社東京証券取引所が有しています。なお、当ファンドは、株式会社東京証券取引所により提供、保証または販売されるものではなく、株式会社東京証券取引所は、当ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

▶MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）

▶MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCIコクサイ・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が公表しているインデックスで、その著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

▶NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

▶シティ世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）

シティ世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

▶JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円換算ベース）

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、J.P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。